

スポーツに関する基礎調査報告書 (ダイジェスト版)

調査概要

1 調査期間

成人 : 平成25年6月13日から7月5日までの23日間

中高生 : 平成25年6月13日から7月1日までの19日間

2 調査方法

成人 : 郵送により調査票の配布と回収を実施

中高生 : 各学校に依頼し調査票の配布と回収を実施

3 調査対象者

成人 : 無作為抽出の20歳以上の方 4,000名

中高生 : 市内在住の中学・高校2年生 480名

(内訳) 中学生(市内8中学校の2年生各1クラス) 280名

高校生(市内5高校の2年生40名) 200名

4 回収結果

	配布数	回収数	回収率
成人	4,000	1,549	38.7%
中高生	480	480	100.0%



この調査は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。

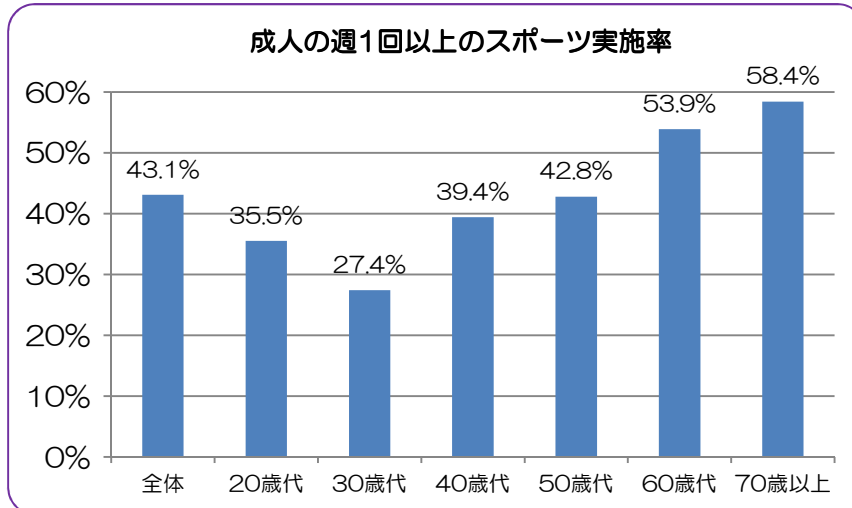
調査結果

「する」スポーツについて

●成人(20歳以上)の結果

1 週1回以上のスポーツ実施率

成人の週1回以上スポーツ・運動を行っている割合は、43.1%となっており、過去の市民アンケート調査と比較すると、大きな差異は見られません。また、文部科学省の体力・スポーツに関する世論調査と比較すると低くなっており、日常的にスポーツ・運動を行うことに対する意識は低い傾向にあることが窺えます。



<他のアンケート調査結果>

	市民アンケート調査		平成25年体力・スポーツに関する世論調査 (文部科学省)
	平成21年度	平成24年度	
成人の週1回以上のスポーツ実施率	43.5%	44.6%	58.7%

2 実施している種目・今後実施したい種目

成人の実施している種目、今後実施したい種目ともに、40歳以上で「ウォーキング」が多くなる傾向が見られます。比較的少人数でできるスポーツ・運動に人気のある様子が窺えます。

<実施している種目(その他除く)>

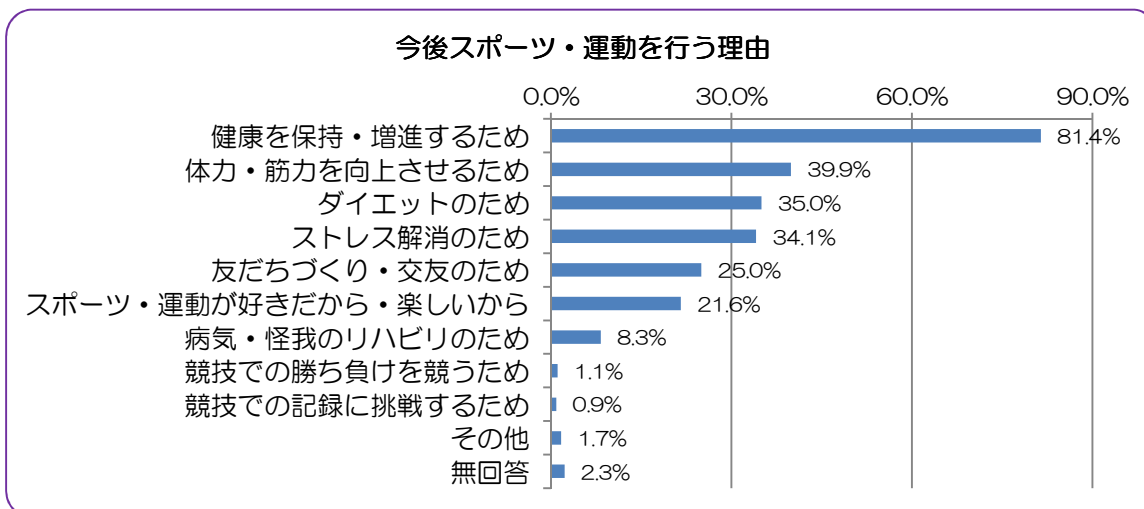
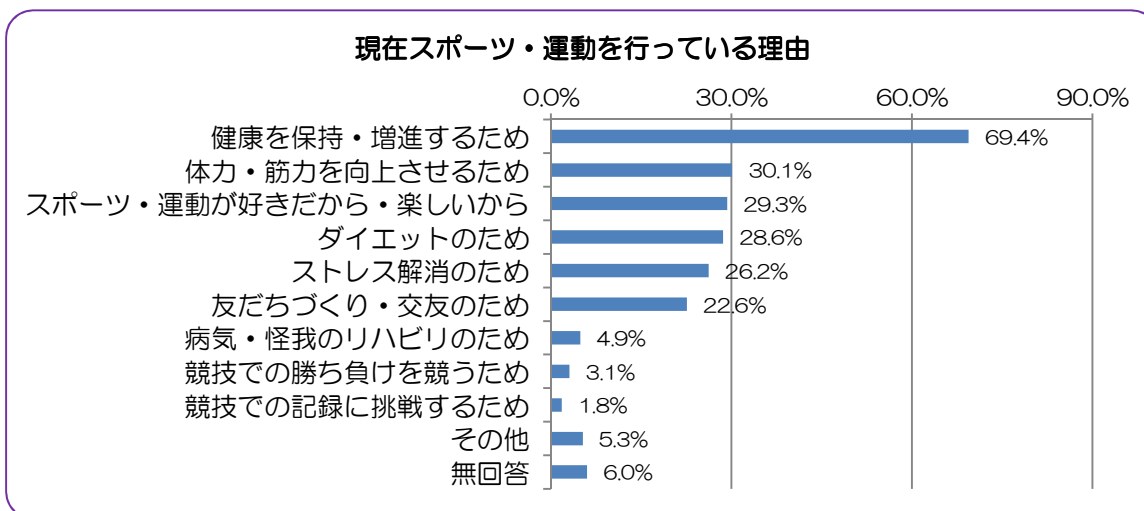
	第1位		第2位		第3位	
全体	ウォーキング	33.7%	ランニング・ジョギング	12.3%	ゴルフ	10.6%
20歳代	ランニング・ジョギング	22.4%	ウォーキング	14.9%	野球	13.4%
30歳代	ウォーキング	16.3%	ランニング・ジョギング	12.1%	野球	9.2%
40歳代	ウォーキング	27.8%	ランニング・ジョギング	12.2%	ゴルフ	8.3%
50歳代	ウォーキング	35.5%	ランニング・ジョギング	15.2%	ゴルフ	12.3%
60歳代	ウォーキング	48.1%	ゴルフ	14.2%	ランニング・ジョギング	9.9%
70歳以上	ウォーキング	42.2%	グラウンドゴルフ	20.0%	ラジオ体操	12.6%

< 今後実施したい種目（その他除く） >

	第1位		第2位		第3位	
全 体	ウォーキング	23.5%	水泳	13.2%	テニス	10.9%
20歳代	水泳	19.7%	ウォーキング	15.7%	テニス	11.8%
30歳代	水泳	19.8%	ウォーキング	19.5%	テニス	16.8%
40歳代	ウォーキング	24.6%	テニス	16.3%	水泳	14.5%
50歳代	ウォーキング	28.1%	テニス、ヨガ、ランニング・ジョギング (同割合)		9.5%	
60歳代	ウォーキング	27.0%	水泳	11.8%	卓球	10.1%
70歳以上	ウォーキング	21.3%	グラウンド ゴルフ	13.0%	ゴルフ	9.2%

3 現在スポーツ・運動を行っている理由、今後スポーツ・運動を行う理由

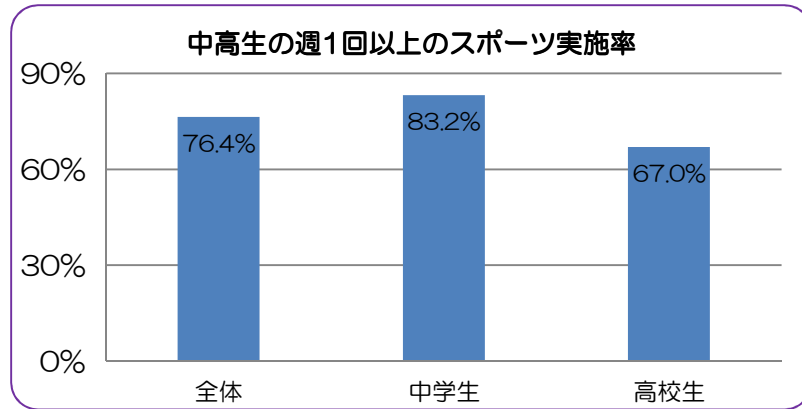
現在スポーツ・運動を行う理由、今後スポーツ・運動を行う理由ともに、競技を理由に挙げる人は少なく、健康づくりの手段や楽しむためにスポーツ・運動を行う意識が強い様子が窺えます。



●中高生の結果

1 週1回以上のスポーツ実施率

中高生の週1回以上スポーツ・運動を行っている割合は、76.4%となっており、前回実施の調査との比較をすると向上しています。一方で、文部科学省の全国体力・運動能力、運動習慣等調査と比較すると低くなっており、日常的にスポーツ・運動を行うことに対する意識は低い傾向にあることが窺えます。

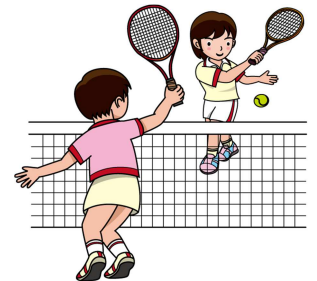


<他のアンケート調査結果>

	前回調査	平成25年度全国体力・運動能力、 運動習慣等調査（文部科学省）	
	平成14年度	男子	女子
中高生の週1回以上の スポーツ実施率	66.6%	90.4%	70.7%

2 実施している種目・今後実施したい種目

中高生の今後実施したい種目を見ると、「ランニング・ジョギング」は、上位3位までに入っておらず、専用の運動器具を必要とする種目を希望する様子が窺えます。



<実施している種目（その他除く）>

	第1位		第2位		第3位	
全体	ランニング・ ジョギング	15.9%	テニス	15.4%	バスケット ボール	12.6%
中学生	ランニング・ ジョギング	17.3%	テニス	16.1%	バスケット ボール	12.9%
高校生	テニス	14.1%	ランニング・ ジョギング	13.4%	バスケット ボール	12.1%

<今後実施したい種目（その他除く）>

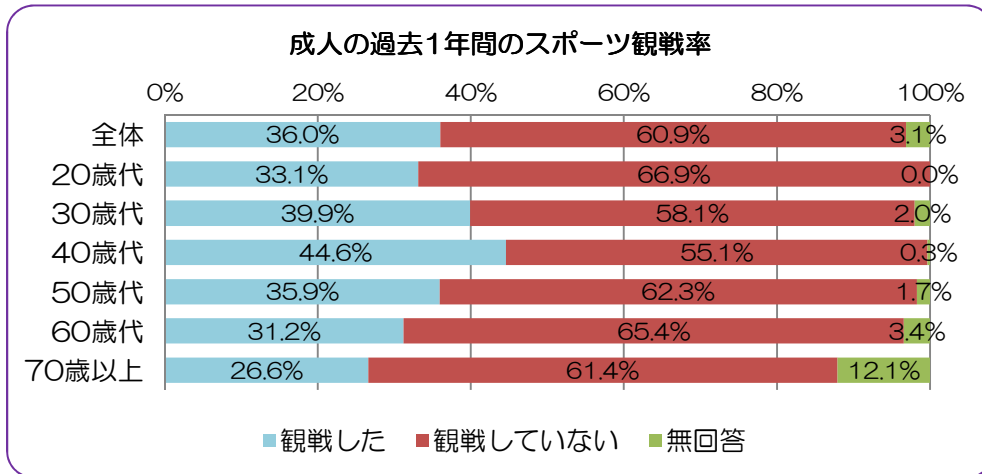
	第1位		第2位		第3位	
全体	テニス	21.3%	バスケットボ ール	13.1%	サッカー	11.3%
中学生	テニス	23.6%	バスケットボール、バレーボール (同割合)			13.2%
高校生	テニス	18.0%	バスケットボ ール	13.0%	バドミントン	11.5%

「みる」スポーツについて

●成人(20歳以上)の結果

1 成人の過去1年間のスポーツ観戦率

成人が過去1年間に直接スポーツの試合を観戦した割合は、36.0%となっています。年代別で見ると、40歳代のスポーツ観戦率が高くなっています。観戦した種目では、メディアで取り上げられることが多い、「野球」、「サッカー」が多くなっています。



<観戦したスポーツ種目>

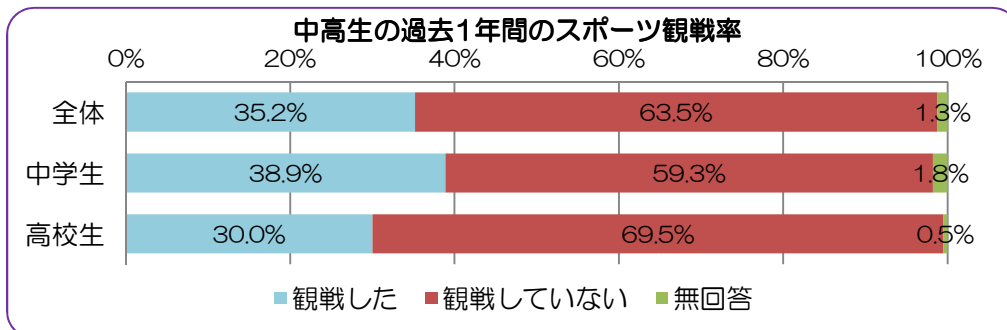
	第1位	第2位	第3位
全体	野球 63.6%	サッカー 25.5%	ソフトボール 11.7%



●中高生の結果

1 中高生の過去1年間のスポーツ観戦率

中高生が過去1年間に直接スポーツの試合を観戦した割合は、35.2%となっています。中高生別で見ると、中学生のスポーツ観戦率が高くなっています。観戦した種目では、成人と同様、「野球」、「サッカー」が多くなっています。



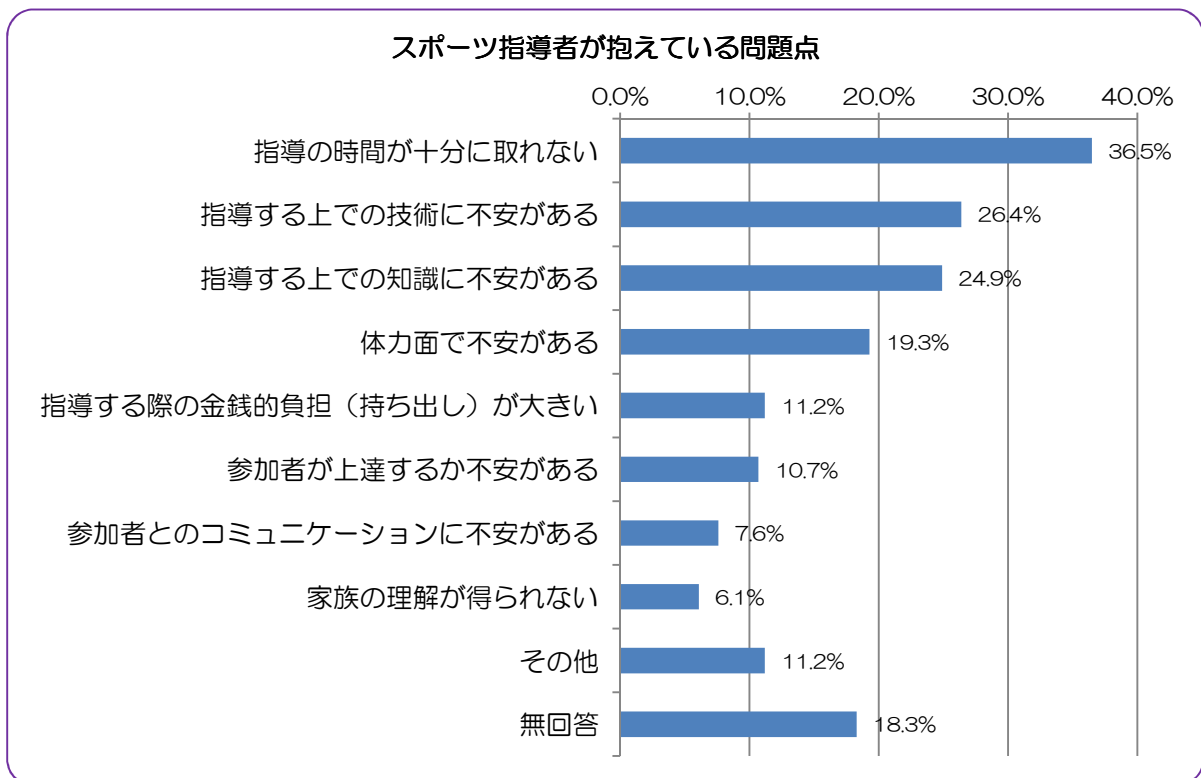
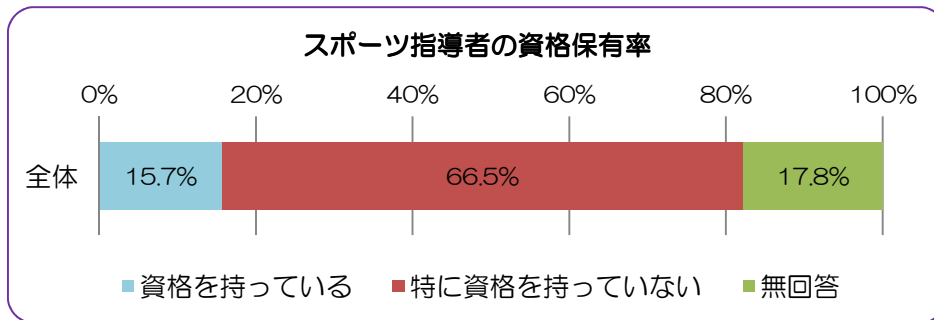
<観戦した種目>

	第1位	第2位	第3位
全体	野球 52.1%	サッカー 16.0%	バスケットボール 11.8%

「おしえる」スポーツについて

1 スポーツ指導者の資格保有率と抱えている問題点

スポーツ指導者に資格の保有について聞いたところ、特に資格を持っていない割合が66.5%と、最も多くなっています。また、スポーツ指導者が抱えている問題点を聞いたところ、「指導する時間が十分に取れない」に次いで、「指導する上での技術・知識に不安を持っている」が多くなっており、スポーツ指導者が自身のスキルに不安を持っている様子も窺えます。

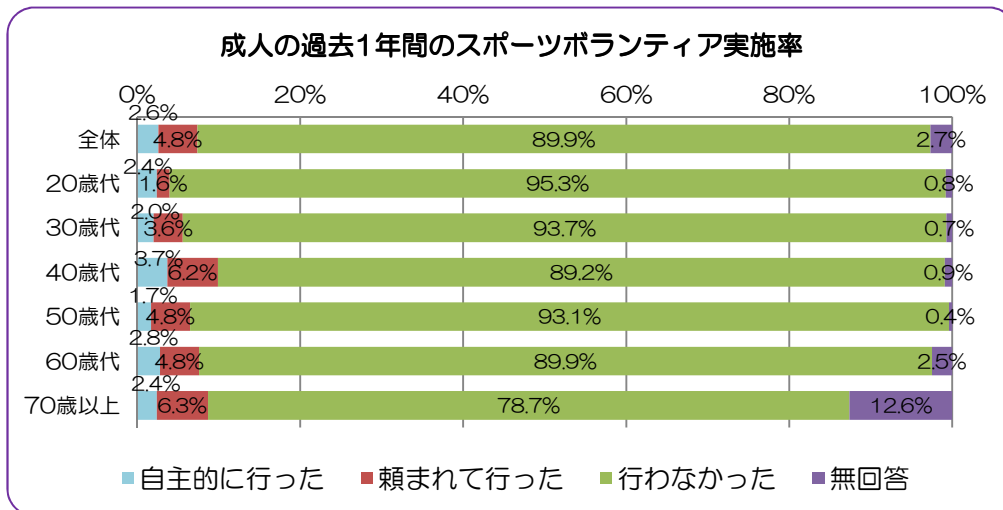


「ささえる」スポーツについて

●成人(20歳以上)の結果

1 成人の過去1年間のスポーツボランティアの実施率

成人が過去1年間にスポーツボランティアを行った割合は、「自主的に行った」、「頼まれて行った」をあわせて7.4%となっています。また、文部科学省の体力・スポーツに関する世論調査と比較すると低くなっており、スポーツボランティアの定着が十分でないことが窺えます。



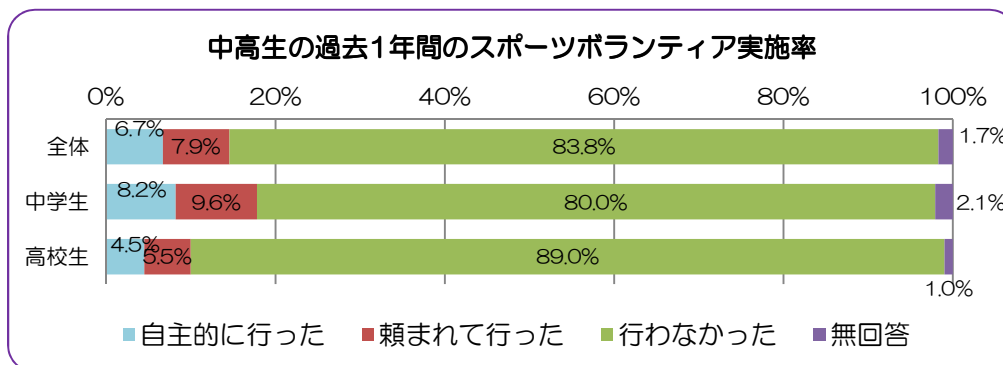
<他のアンケート調査結果>

	体力・スポーツに関する世論調査（文部科学省）	
	日常的・定期的に行った	イベント・大会で不定期に行った
成人の過去1年間のスポーツボランティア実施率	3.8%	7.6%

●中高生の結果

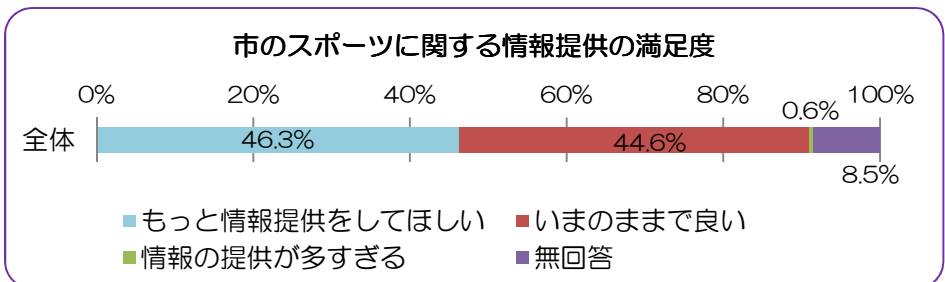
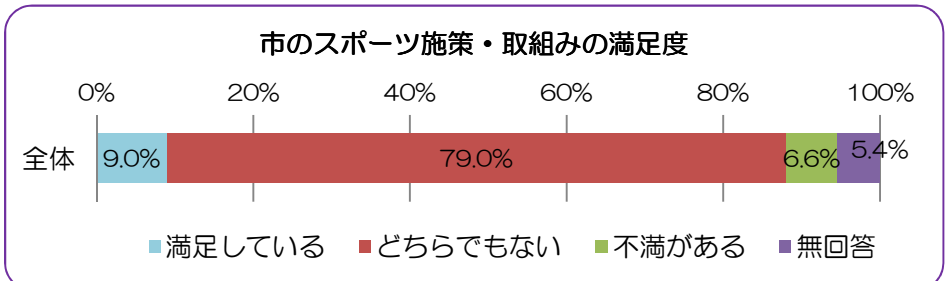
1 中高生の過去1年間のスポーツボランティアの実施率

中高生が過去1年間にスポーツボランティアを行った割合は、「自主的に行った」、「頼まれて行った」をあわせて14.6%となっています。成人と比較すると、約2倍となっており、中高生の方がスポーツボランティアの定着が進んでいることが窺えます。



市のスポーツ施策について

市のスポーツ施策・取組みの満足度では、「どちらでもない」の割合が79.0%と多くなっており、施策・取組みにあまり関心が持たれていない様子が窺えます。また、スポーツに関する情報提供の満足度では、「もっと情報提供を行ってほしい」の割合が46.3%となっており、情報提供が十分でない様子も窺えます。



施設利用について

総合運動公園内のスポーツ施設利用についての総合的な利用満足度では、「大変満足」、「ほぼ満足」をあわせた割合が、43.8%となっています。スポーツ大会等の開催で、土、日曜日等の休日の利用が難しい場合があり、「土、日曜日の利用」、「予約・要望受付などの相談体制」の満足度が低くなっています。

